

きずな



我孫子市少年センター便り 第194号

我孫子市少年指導員連絡協議会 会長 深津祥子

我孫子市少年センター センター長 川本将多

電話 7185-1367 FAX 7182-5867

少年指導員のつぶやき



パトロールでは多くの人にすれ違います。その時に「ご苦労様です。」や、「いつもありがとう。」といった嬉しくなる声を掛けていただきます。

それは我孫子に地域というコミュニティが根付いているからだと思います。それが維持できているのは、地域の方々と夏の暑い日や冬の寒い日でも活動している少年指導員の方々のおかげだと感じました。

久寺家中学校区 並木小学校
少年指導員 小林 昇

我孫子第四小学校は、我孫子駅前に位置しています。そのため、大きな商業施設や人や車通りの多い場所、入り組んだ見通しの悪い道路など、子供たちが危険に出会う可能性もあります。そのような地域に住む子供たちや保護者の方にとって、少年指導員などの「地域で子どもを見守る体制」は、安心して生活ができる環境づくりの一助となっています。

白山中学校区 我孫子第四小学校
少年指導員 大越 陸

問われる責任 1億円!?

◆裁判で加害者が支払いを命じられた額

9,521万円

◆男子小学生(11歳)が夜間、帰宅途中に自転車で走行中、歩道と車道の区別のない道路において歩行中の女性(62歳)と正面衝突。女性は頭がい骨骨折等の傷害を負い、意識が戻らない状態になった。(神戸地方裁判所、平成25年7月判決)

もし、事故を
起こしてしまったら...

①けが人の救護

119番に通報し、救急車を呼ぶ。

②安全の確保

歩道など安全な場所に自転車を移動させるなどし、二次被害を防ぐ。

③警察への通報

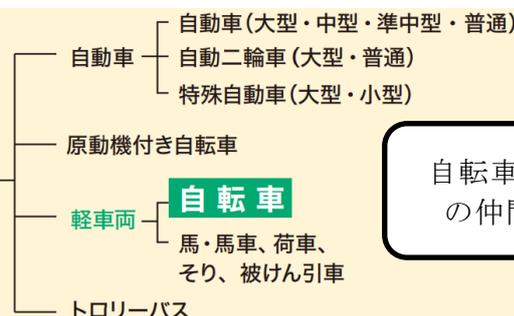
110番に通報し、警察に連絡する。保護者・学校へも連絡をする。

④相手の連絡先の確認

⑤保険会社に連絡

自転車保険に入っている会社に連絡する。

車両



自転車も自動車の仲間だよ!



被害者にも加害者にもならないために
知っておこう!

次ページに続く

自転車ルール 家族で確認しよう

①「ながら運転」は違反です！

【5万円以下の罰金】

②車道の左側を走ろう

(道路交通法71条第6号、千葉県道路交通法施行細則第9条)

◆傘を差しながら



周りが見えにくくなるうえ、風にあおられてバランスを崩しやすくなります。

◆スマホ・携帯電話を使いながら



周りの様子が目に入らなくなり、歩行者や車にぶつかる危険性が高くなります。

◆イヤホン・ヘッドホンを使いながら



周りの音が聞こえない状態で自転車を運転すると、危険に気づくのが遅くなったり、音楽に気をとられて運転に集中できなくなったりする可能性が高くなります。

自転車は車の仲間です。一部の例外を除いて車道の左側に寄って通行します。右側通行は大変危険です。



【歩道を通行できる場合】

- ・道路標識や道路標示で指定された場合
- ・13歳未満の子供、70歳以上の高齢者、身体の不自由な方の場合
- ・車道や交通の状況からみてやむを得ない場合

③歩いている人が優先です

歩道は歩いている人が優先です。歩道を通行するときは、車道寄りを通行しましょう。周りの様子に気を配り、思いやりのある運転を心がけましょう。

歩いている人が前にいたら自転車で降りて押して歩き、通行の妨げにならないようにしましょう。



④交差点では安全確認

自転車の事故は、半分以上が交差点で発生しています。

交差点を渡るときは、信号や標識に従うのはもちろん、徐行や一時停止をして、周囲の安全を十分確かめましょう。

見通しの悪い交差点や狭い道路から広い道路に出る場合は、特に注意しましょう。



ちばサイクルルールチラシより

道路標識



一時停止

停止線があるときはその手前、ないときは標識の手前で必ず停止して、左右(周囲)の安全を確認しなければならないことを示します。



一方通行

矢印の方向にしか進めず、反対方向への通行が禁止されていることを示します。



車両通行止め

自転車を含むあらゆる車両の通行が禁止されていることを示します。



自転車横断帯

自転車が横断するときに通らなければならない自転車横断帯があることを示します。

内閣府自転車安全講座より

ブタはしゃべる！？

自転車点検の合言葉

出かける前に点検しよう！

- ぶ …ブレーキはちゃんと利きますか？
 た …タイヤの空気は入っていますか？
 すり減っていませんか？
 は …反射材は光を反射していますか？
 しゃ …車体やハンドルはガタガタしていませんか？
 べる …ベルはしっかり鳴りますか？

編集後記

“自転車”をとり巻く環境は、「ながらスマホにおける事故」や「交通ルールの改正」で色々と変化の時期であると感じました。まずは今回取り上げた記事をもとに、お子さんや周りの方と便利で身近な“自転車”の安全性のためにいま一度どうすればよいのか話してみたいかがでしょうか。そして人も自分も守るために、自転車の点検・整備を忘れずに行いましょう。(布佐中区・田浦)